



令和 6 年度事業の取組み状況

令和 6 年 9 月 17 日
総務企画局企画調整部

令和6年度における「ユニバーサル都市・福岡」の推進について

主な取組み

新規

●ユマニチュード®のさらなる普及促進【福祉局】

- ・ユマニチュードの市民認知度の向上
市民認知度のさらなる向上を目指し、市内全小学校（4年生）や東・博多・中央区の全公民館での講座を実施。また、テレビやラジオ放送等、様々な媒体を活用した広報を展開。（テレビ：KBCにて8/14～10/30の毎週水曜日、20時54分～、ラジオ：KBCにて8/16～11/1の毎週金曜日20時39分～放送中）
- ・第6回日本ユマニチュード学会・福岡総会の開催
9月28日、29日に「第6回日本ユマニチュード学会・福岡総会」を同学会と福岡市の共催で開催。講演会をはじめ全国でユマニチュードに取り組む方々の学術発表のほか自治体として唯一の福岡市の取組みを全国に発信。



●地域における障がい者差別解消などの理解を深める取組み【福祉局】

- ・地域団体（自治会、校区自治協議会など）が実施する研修会や講座などに障がい当事者を講師として派遣し、障がい理解・差別解消を促進。

●道路バリアフリー化の推進【道路下水道局】

- ・踏切部のバリアフリー化。
- ・横断歩道部などにおける歩道と車道の段差を解消するため、令和6年度段差のない縁石を設置。



●ベンチプロジェクトの更なる推進【道路下水道局】

- ・新たな取り組みとして、交差点へのベンチ設置について実証実験を開始
各区1～2交差点を対象に合計25基設置



●車両優先スペースの改修【交通局】

- ・優先席の対象に、「小さなお子さま」を追加。
 - ・優先席・優先スペースの壁、床の色を一般部と区別し優先エリアを一般部と明確に区分。
- 改修対象：R10までに45編成（R6:8編成）



●学びの多様な学校（不登校特例校）整備事業【教育委員会】

- ・教育課程の検討や生徒募集を行うとともに施設の整備を実施。
- ・福岡市教育センター内に令和7年4月に開校予定。



●インクルーシブ防災訓練【市民局】

- ・避難行動要支援者と避難支援実施者の双方が参加し、個別避難計画に基づく安否確認の声掛けや避難所までの避難支援を行う訓練を実施。

●オンライン診療の試行的導入【保健医療局】

- ・小呂診療所にオンライン診療を試行的に導入し、島民への医療提供体制を強化。

継続

●ユニバーサル都市・福岡普及啓発事業【総務企画局】

- ・小学4年生向けの、ユニバーサルデザインを学ぶための教材（H25年度制作）について、時代に見合った内容にアップデートするため、Webサイトを構築。
- ・ユニバーサルデザインの認知度促進のため、様々な媒体を活用した普及啓発を実施。

●インクルーシブな子ども広場【住宅都市局】

- ・誰もがお互いを理解し、安心して笑顔で、自分らしく遊ぶことができる「インクルーシブな子ども広場」の整備に向けた取組みを推進。
- 令和6年5月にインクルーシブな子ども広場第1号が百道中央公園にオープン



●ベンチプロジェクトの推進【福祉局・道路下水道局】

- ・誰もが外出しやすいまちを目指し、市内全域へのベンチ設置を推進
（R5年度末時点 ベンチ設置数（累計）549箇所 655基）

●ユニバーサルデザイン(UD)タクシーの導入促進【住宅都市局】

- ・高齢者や車いす利用者、来街者など誰もが利用しやすいU Dタクシーの導入費用の補助を実施（R5年度末：累計426台）



●医療的ケア児の支援【こども未来局】

- ・医療的ケア児の家族の負担軽減を図るため、自宅等での訪問看護に係る経費等を助成するとともに、市立児童発達支援センターに通う医療的ケア児の送迎をモデル的に実施。



●外国にルーツをもつ児童生徒への日本語教室開催【総務企画局】

- ・子どもをはじめ在住外国人対象の日本語教室を、地域と連携し開催することにより、在住外国人の日本語能力の向上とともに外国人及び日本人が異文化に対する理解を深め、相互に信頼関係を築くなど、地域における円滑なコミュニケーションの形成を促す。

●食のユニバーサル対応推進事業【経済観光文化局】

- ・訪日外国人の多様な食文化に対応するため、ヴィーガン等対応店舗の充実に向けた国内外への店舗情報のプロモーションを実施。

主なスケジュール

4 - 6 月	7 - 9 月	1 0 - 1 2 月	1 - 3 月
<u>「ユニバーサル都市・福岡」普及・啓発事業</u>		★【想定】冊子、WEBメディアによる広報（シティ情報ふくおか） ★【想定】パラアスリートによるトークショー＆卓球体験会 ——→【想定】六本松蔦屋書店とのタイアップ企画（2週間） ★体験型ワークショップ ————→【想定】FMラジオ放送による広報（1ヶ月）	
	副読本ウェブサイト構築・PDF制作	★9/17第1回改訂委員会 ★第2回改訂委員会 ★第3回改訂委員会 ウェブサイト構築・PDF制作	★第4回改訂委員会
<u>ユマニチュードのさらなる普及促進</u>	★9/8市民公開講座 ★9/28-29日本ユマニチュード学会・福岡総会／市民公開講座	地上波でのミニ番組によるプロモーション	
<u>すべての小学校・すべての校区でのユマニチュード講座</u>			
<u>インクルーシブな子ども広場</u>	★5/31百道中央公園遊具広場の供用開始	今津運動公園ワークショップ（全4回）	
<u>ベンチプロジェクト</u>	★5/24交差点ベンチ実証実験開始	利用者アンケート	

「ユニバーサル都市・福岡」普及・啓発事業

公募内容

(1) 各年代に応じた普及啓発の取組み

40歳～59歳：年代を意識した効果的な広報の企画・広報物制作

60歳以上：市主催イベントを活用した企画・運営等

(2) パネル展示・体験イベントによる普及啓発の取組み

・パネル展示、体験イベントなど、リアルな場において認知度向上を図る企画

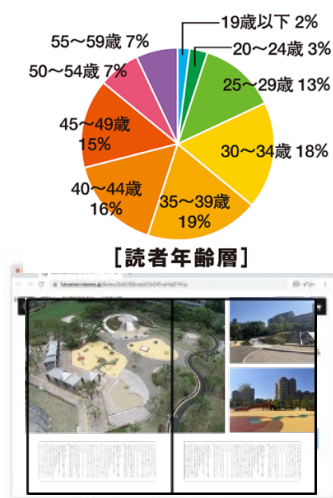
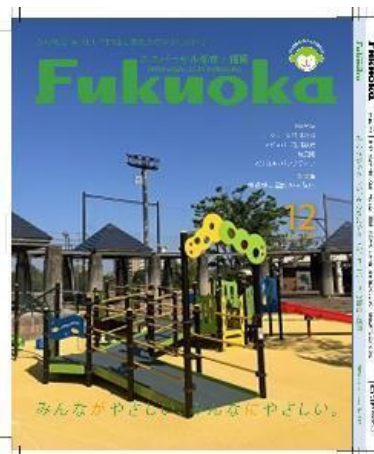
・来場者がデザインの背景を考えたり体験したりできる工夫を含めた企画

スケジュール

・9/5に提案審査を実施し、ラブレフェム国際放送株式会社が最優秀提案に決定

・今度、実施時期、内容等の詳細について調整

提案内容の一部



「シティ情報ふくおか」での特集ページ掲載
(50,000部)

パラアスリート立石 アルファ 裕一選手による
トークショー & 卓球体験会

六本松蔦屋書店とのタイアップ企画
店頭でのPRブース設置

副読本ウェブサイト構築・PDF制作

公募内容

社会の動きや教育環境の充実を踏まえ、より良い学習環境・教材を児童に提供するため、児童向け副読本ウェブサイト構築及びP D F 制作に向けた提案を公募するもの。

スケジュール

- ・8/29に提案審査を実施し、株式会社QTmediaが最優秀提案に決定
- ・9/17に第1回改訂委員会を開催、改定内容の検討を開始

提案内容



メインビジュアル



まちの中のUDを探検 1



タイピング機能



メニュー



まちの中のUDを探検 2

Q 多目的(たもくてき)トイレのユニバーサルデザインはなんだろう？



- 1 オストメイト対応、子供用のいす、おむつ交換台(こうかんだい)があるトイレ
- 2 車いすの方が使いやすいように、いろいろなものは付けないトイレ
- 3 子どもが遊べるように、遊具(ゆうぐ)があるトイレ

UDクイズ

ユマニチュードのさらなる普及促進

市民への普及促進・さまざまな媒体によるプロモーション

9/28-29 ユマニチュード学会・福岡総会

日本ユマニチュード学会

CONFERENCE 2024

第6回
日本ユマニチュード学会・福岡総会
2024年9月28日(土)・29日(日)

福岡市中央区舞鶴エリアの市立施設
①あいれふホール ②福岡市立舞鶴小・中学校 ③福岡市認知症フレンドリーセンター

同時開催 生存科学研究所共催 市民公開講座

『自治体とユマニチュード
～社会基盤としての実践～』

9月28日(土) 9月29日(日)

学会総会：大会長講演
福岡市長
高島 宗一郎

市民公開講座
ユマニチュード考案者
イヴ・ジネスト



ユマニチュード講座



デジタルサイネージ



シティドレッシング



9/8 市民公開講座

～家族が認知症になりましたそこにあったらいいねユマニチュード～

KBC

テレビ
毎週水曜
よる8:54～

ラジオ
毎週金曜
あさ10:39～

家族が
認知症
になりました

そこにあつたらいいね
ユマニチュード

ハリ杉山

テレビ・ラジオによるミニ番組放送

斉藤ふみ

まちづくりへの認知症デザインの導入

5/31認知症の人も安心して利用できる！地下鉄橋本駅の「駅前広場」がリニューアル！

<供用開始日時>
令和6年5月31日(金)
午前6時00分より供用

<場所>
地下鉄橋本駅駅前広場
(福岡市西区橋本
2丁目26,37)



▲駅前広場のイメージ



整備のポイント

認知症の人にもやさしいデザインの導入

Point 1 歩行者動線の明確化

歩行者動線の色は、車道の黒色と強いコントラストをつけ、明るいベージュ色としました。これは、駅舎内の床の色と同系色であり、統一感を出しております。

Point 2 施設のコントラストをつける

シェルターや案内板の柱の色は周囲と見分けがつくように、黒色とするなど、分かりやすくしました。

Point 3 シェルター(屋根)で雨でも濡れない

駅舎から各乗降場までシェルターを設置することで、歩行者が雨に濡れることなく、乗り継ぎが可能になります。また、シェルターには、橋本駅のシンボルマーク「もみじ」を装飾し、親しみを感じ落ち着ける雰囲気を作りました。



▲歩行者動線



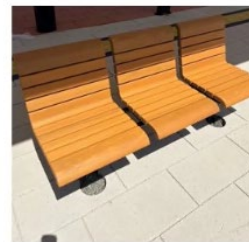
▲シェルター

Point 4 ベンチの設置

休憩したい方や乗り継ぎを待っている方などのために、市内産の木材を使用したベンチを6基設置しました。

Point 5 案内サインを充実

記憶に頼らず、その場にある情報で行動できるよう、判断が必要な場所に分かりやすい案内サインを配置しました。また、サインは文字(4か国語表示)だけでなく、ピクトグラムも併記しています。



▲ベンチ



▲案内板



▲誘導サイン



▲乗場案内

インクルーシブな子ども広場／ベンチプロジェクト

インクルーシブな子ども広場

5/31から百道中央公園遊具広場の供用開始。9月から今津運動公園のWSを開始(全4回)。



ベンチプロジェクト

5/23から、横断距離や信号待ち時間が長い交差点などを対象に、小休憩や荷物置きを目的とした一人掛けベンチを設置し、利用状況や設置場所等に対する市民ニーズを確認中。

ベンチプロジェクトの新たなチャレンジ!

交差点ベンチ でほっと一息

5/23～順次設置

▶ 誰もが安心して外出できるまちへ



【タイプ1】※イメージ
円柱型、座面：木製(福岡市内産材)

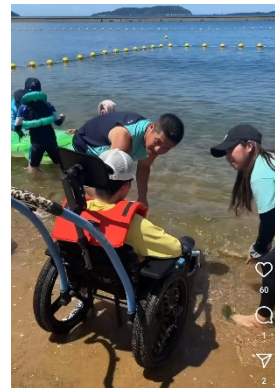


【タイプ2】※イメージ
立方体型、座面：合成木材製



その他の活動

SNSによる情報発信



「九州通訳・翻訳者・ガイド協会」主催
バリアフリー研修

NPO法人ももち浜ユニバーサルビーチプロジェクト

出前講座



警固中学校



赤坂小学校



東体育館